繪入

小夜嵐物語

六

門下
不出
三緣山
三中溪
清涼寶藏

へ 13
1626
5

特へ13
1626
5

小夜嵐巻之才六

才九六　地獄合戦の事
才九七　野合切の事
才九八　陶鹿滅亡
才九九　雷雲見グの事
才三十　曽我八郎ゑぼし拾の事

小夜嵐巻之才六

才九六　地獄合戦

[illegible]わグ思ふの馬とのわおどろ[illegible]
[illegible]ひ物論まの文飯とん[illegible]
せける八剛まの大敗の日[illegible]
物まの遠巡とゆく[illegible]
の故口論せ[illegible]
と敵せざるんを未[illegible]
わるん見新[illegible]
ら[illegible]とやさかのがう[illegible]
[illegible]れば新田四郎忠[illegible]

緣山

猛花のくるんどもそれを憐まざるものとそしるも
かくしこれをうらひあるべくそれ獄卒ばらまでた
をけさせるなりん事いと変なれなり怨敵ばかり
とは微塵の罪をもつくさびこれをもつ侍るべ
ばよ猛役の御志あるべく鬼のあるべき猛虎と
やしなふぬぎいかなるべしあるべくうるせしるべ
ゆとこれい彩朔のさそしくしるるおるべ
しあるせおさるが大をかるめて一同よりこわるせ
ぐれ入るをふるはるる宮殿獄卒なるのるるるる
花をれわるがれいくとく大でとるるそしみるぐく
をれどるかさいかるれ重ねしるどひ表弓ばるる逆

さるや猛軍ぐるしいかるくるこわるくるれ
鬼のるるいさんとるぐるるなるるる宮殿るるる火
るるる鳴弟とこぐるる衣よ火付めるるるるるるひを
あるるびるそるのるれまるるるるるるるるるるるるるや変鳴よ
鬼入死るるるるるるるるるるるるるる

人くよハ猛田の為清正清長田の四良武田八幡清原
平賀伊沢小野寺東多良芦名長谷部左屋佐井
乃弥義別当さうのもりこそ弥義久弥義六郎
一条いとこ兄小笠原信行の冠者昌義その子三郎
志賀武田加賀稲毛子新
流金子十郎義忠筒井孫太郎義久とさんらうしし
この強者ハ百弐拾万騎父子一族うりとりとりかしら也
ふ平親ま門ハ数万騎と卒して一百三
十六ぢうくとめぐりうこもう焼あてあるふぢ
ぐとはしるぞ夏獄卒たりてさんだ東あ
うあひあとまひまとそのまどうしかけこたの

ひくまどおいうはぬかさいがう一張よ入鬼三鬼ろ
けうこ矢一筋とうもひあらくぷうりよ打ても
つしたりうとうとうしかりひうしもそ弟もり史編
とうあうぷ風とうけぷ人のまるこうとうはん。
ろうわしいひうど羅人ハあわ一緒の甲とうぷ
濯とうあわうしもぎ矢し弟かあび織の
ぎうかしいうはどは自立てもうくう鬼ぷ
かうひいもうぬうあしぎ純ぢのうぶうとうぶし
なく決源さの濯とうかぷまうなけまばりた
ふかせあ通ぐうもうやうばのうけわいなしだ殺
うううもうりうぢ化獄のやうかぷ猛史ろ笑うこ

して天よりのがれ大地に血川をながしわさし侍
ぶやけんの見ごとぶ火あるようなるそうそうに
もぶ侍ぶれとうるはけしうぶ見と遊けれはけし
あり。三十余度のあらひ。敵日七日ぶ防ぐ大
唐呉越のあらひ。七十余度よりぶ呉越
国のそのわぶぶ百里と為ぶそなりそのゆく
舎稚ぶしてふぶしかぶしぶ。こくせんけいと
云ハあり。ハハのいしてマ十里あり。蚩王こうせん
呉王ふぶの戦なりぶんをいぶそうとあく絶
よ呉王とかうぶ越王をとうげられぶ。
九年の日れ合戦なしぶ人馬のたうれうぶ

初ハ越王うちまけぶあひ。舎稚ぶ
なりあるいしよ。花暴梓くの計略とめぶ。西
施しぶ美人越王にあり。呉王にあそ。
ぶし勾践と越よくさぶ舎稚ハ和とぶ。花
暴梓ぶ策といそかぶ。呉王とうあり勾践ぶ
ことと遠しあまふかぶ。花暴梓ハ功名面要ぶ
孝ふんのまぶ。ぶ功名遂て身退ハ
天の忠しぶて勾践よ四賜とうぶ。
又湖ようみさぶりうにぶあり。
日ハよハ又保元の乱ぶ。義久よ
国かぶやうぶぶ。今の代ぶ出王ハ西

天ようをひろせしふかう殿下れ御改ときかとなるふ
ものてなり天北四方安穏よ四海の波おだやかの時
ほうぎとあるさんぬつちぐをとやぶ〳〵ぶ四方の
うをなびかさるるぐふ代〳〵ありぬ唐かく竟
韓四方ひのくハ延喜の聖代をかゝやく人民歌い
さんぬ〳〵ぶ罪〳〵とまぬ沈なり。ちうれいばこのふびを
遠ゆくれ名大ゆハかの係元寿永ち合戦発て
てきこうこといどみあひ。敦盛ゆきうひ。乗れ蛭
負ゆ名天下にうれなれ源平れ強者一味あり
てゆ事なれいばいうなゆ四てんま見神なりて四と
ひく尊ゆきやゆ〳〵ぶ〳〵去ゆ〳〵今度ゆく〳〵

なり。敵ハ見なり。大事ゆけられ毎ゆてとゆ
ありしゆ〳〵ぶ沈ふ。四地獄のち護ゆ宮ゆ
浜見宋し竜魔見し。いふ二の見ありし。史編
れ中ち花ぐ出。大音教ゆくいふ。ふ
罪人ものとうけ。今度しゆそうれ事長れ
迦善ゆ四ゆあ。大王慈悲とうれ大教ちさゆ
ゆ恩徳のなぐ紙ゆとれ。ゆ海とくゆぐ
ゆ事。番代赤ゆなり。行ゆ細のあゝばゆ〳〵
ゆ世ちうん地獄童罪れちぐいなれいばいぐふ
よおよぐれゆでとゆまてものうせんうくたさ
なゆまゆことに角ゆ角ゆ見ゆ〳〵ゆばるびゆ

ぬとく光らうにはわ燒くるかの火と喰いぶくるよもわ。
人馬共よりそれにあちらうぶくるうに寄よ。多ぬうく
れ泳ぐるいしいかのこ弱うけかそことちらうとく
はちうぶくあもまくあれ射こちうさんくいつまくふ人くだわ
ようよ楽らうよ乙くくくうちはぐひ。引ちがわちやく
ありくくあつぷき矣あわやまくに竜魔剣ぐひぐわ
ぬまかこふはくかくくんくくぐくいくめけてぷく
わうあちらかの獄卒ぐ射ぬうかうべのちとといぬうくぷろ
うたのあの絞れわちくくらよぐくくくんぷ源ふす
むぐかの竜魔剣ぐ用かこといぬれうのぬくくまふ
くくしぷくくちかかの獄卒ふうべと射ひくもうこ六

ひうこ。味うくうの人くくこうこまひくやぐあくくとたの男
ち漢人高八俊人えうげまるこがゆんぐぬまくくとくち
ふかかの又宮遠あうくくし竜魔剣ぐひうわぬまあこ
と射あわぷとく矣はぐハまれくとちち面くぐ
人くとさくくそれ泳ぐうの射こうちさとびひう
くうくくうこうものとくくあくくう見ぐたハすく
ミかすんぐうけかけるぐ。いぬの矣さくとうくく
うくくとうくくく

まる鍬見つてぞくもわらこれはげひとうけ十三カ
さしうれぞうしてたかるとあつはまの音
うかわるくうわ三鬼りつうよあらはらかか
ぬあるくよぬけるとえそのうわ鬼ごれ
とうごくかりひまし八百三拾六地獄うわうけ
いくうるかあくうひ嵐のごく教回して宮と
かこうしかとなげかうぐれ矢まれち
猛火とらくしゑ物乃数とぬくしゑ長夜乃ごく
なんとうこうしたうり又虚空とくしゑ奥洪れ地セ
あとけしたうでうれ中へまりてへくるひまわく
死ぬしあうぞまくしゑ痛くうかのはれ中へ地で入く

死をけしたうり教ロ七ロ八合戦よ弘くうロ鬼
教とうべ

第七七　野合切み責

平治ロ乃実敏へハ是刑治部大輔ゑる民乃一郎義
誼直ゑ基氏稲村隈川帰の小路大政大臣義清
乃大臣義教今川義教大臣尚光
源院義輝仁木細川右京大夫松
ハ人くこ六十カ弱九中ね義員長男越ねる二男義
奥三男義家和田楠木決田ゑる楠三十又万弱小条
乃一家河房河氏恭河時頼宗河相模入ゑる河徳
義太秀郷ゑ伊勢陸奥守秀衡嫡子四木戸太良

二男泰俊　三男右衛門　四男弓右衛門　五男左衛門

くりうくりの強もんぞうにてあるべしらばけく
かぶ物寄る民ハ黒いとしかどくれて懼よくとぐさみた
かゆ田とめ〳〵遠藤芦毛なかるよのり弱うこふ
のうしあぶる義義ち師直松永平ハ帝宗良とめ
くれ是ち平名主の文敏ハ大舎人ちの四郎
黒ゐて平忠よ宮仕つ〳〵ゐ河川ちゐ
川ハ和とゐ〳〵ちゐ大汚とゐハ紅連
ぐ〳〵の赤ぐ〳〵ハ光く海く宮深ぐ〳〵ぐ〳〵ハ
ゐ〳〵見女がたゐ紅の前しハふ山ちゐとゐく敏
汚ひゐりよ義合て大海よぶ〳〵入へ〳〵ぐ〳〵かゐび

〳〵ちぐさあ〳〵ばゐゐやゐ〳〵ぐ〳〵貴〳〵〳〵美和よゐ〳〵ち
味方と一人〳〵ぐ〳〵ちてハちぐ〳〵と毎ぐるひ
ぐ〳〵ぐ〳〵の世人ぐ〳〵ぐ〳〵ぐ〳〵

[illegible]の川の[illegible]

[illegible]ハ見ハやせみ

[illegible]やあんの[illegible]ら[illegible]戸板よりの[illegible]と組[illegible]

はく族ありけり。水神[illegible]

[illegible]ふ[illegible]らし[illegible]しかぶ[illegible]

へさして一見も殘らびぶ[illegible]

二月十六日ハ秋年号を[illegible]一類うせもてわ[illegible]

やるかた[illegible]信濃二[illegible]

へでじゅうして[illegible]

教[illegible]

くさげをなをバ山[illegible]

[illegible]猫亂[illegible]

[illegible]

[illegible]

けるよ。ぜんぜんとしてもの凄ふるう。ぜんぜんとして
見ぬけそひ。是こそ。まことの。天のあるじ。ふ。ぬなしとて
十方をわかつとこゝあり。央なりになしまふぐわ
をわつるこそや。鬼ごとにのんとあく。是ぬんよ
出こそかるわあしばう一法ほうこう。ぬるう。鬼を
なく。ぬく。竹ひけをはくやつびのあるこゝあるし
ばこそ。ゆこそわ。鬼ひるるにて人十人。元分て
祝へ。ひこうだひあひ。ぬく。鬼ひるびるわもこびし
さんしこしふやこくかの羅ぬくと。鉄はるらあか
ひるぬ。ぬこ。ぬけこうらわるて。迦門。鬼ひこと
うらへく。文中とひそうふこしい。分。反。獄。卒。落。

ゆくこうれしゆとこゝあ。和女ばこるこうこゝる
ひ。童鬼ばひゆくこうとうら。双六ひ。月。禅。よざれあひ
又鬼三鬼ばくぬこあるこゝあるこゝ鬼。姥。歯ひめけ。月
あるし。ゆくまこゝゆ。ものこもこれあるゆ
こうげさくこゆこゝあこゝたのゆはく。白。衣とあ
ひこゝあくゆの鬼あるこゝばこゝ。まびよこゝひ。朱と
あるこゝくべ。麦。茶とひこゝけこ。鬼。坊こいこゝやこゝとゆこ
こうこゝとこゝひこゝねびこゝあるこゝあるこゝあるこゝくこゝ
たこゝこゝこゝ子。鬼のこゝびこゝ。祝。ひこゝあるこゝあるこゝあこゝいこゝ
こゝ。ゆこゝあるこゝ。十二三。なこゝ。分。童。鬼。ばこゝ。ゆこゝ。ゆこゝ。まこゝ
こゝいこゝこゝこゝ

ぞうさ雀とて、ものこうらいておりたるや
うに、戸の傍より奥へとうしばうしんちゝ奥
へいりぬれば、ものわときこうさ、おぼ姿とうんきぬ、こうら
ゝとうびくちをぬ箱元和、ちうにこうじをこうり
ものんがそきのいうだうわ、なしうぞとく
とうし、前代いまの動揺して、ほこうなくぐ
ぞ西へ軍勢大さうふ乳入くぐやもうこに火
とけくぶ、おどろうこさうぞ、肝とすり、是をさて
何事ぞし、ぶさけぶ、ものとふくうゝみ友達ぐ。
高中八まなしば男兒女兒ひしやがひしもあく
をかゝとト猫亂まて、高台とのこうび金殿

宮殿やうこのかり、燔くこうして、庶とな台、それわ
大ふ里の、ふ銀へうちうも見あまふよ義くこ台ろ
ぶなわ、一方にはひとうを立こ台やうな台、坂二三十ぬグ
アとしろくこうやうよ人てこうわ、三方いこうわ、屋台と
あく処台、わいぐくたゝおゝしぐうわ、いこうふを
うけ乃軍、落合く、滑なし、廉さ台をかうべ
こうやうあくぐにもうけてぐくんし、高台。
制やぐらうわ、前を居の、皮獄卒ぐてグ、人骨
よをこうこ台とやうんこうわ、ものんぐうにしうこ台
男ふの、狂とミをんこうやかもひきん、三十人、死して
拾べうかどの石をへ行ふはぶくに、手ぐく、突

とはぐ〳〵村〳〵けうり出てうごにうばりの動バ。
うれ大石となげ人馬微塵よなるべさやうなれば
ゆ[illegible]ばりうて大れ[illegible]の下知し定まうべ
わ〳〵りふしわ〳〵いのぶりわて高中かんこうふ
ぶ[illegible]れ[illegible]ひ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
くたくりけきい是れ之処しなつ[illegible]ぶ[illegible]し海中
よ[illegible]ぶ[illegible]ん[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ

ようりゆうの摘こうえんへつりて失とうけそれば
ばけや強ちとしよりをかぶ十方よりひとさ
ゐ宮勢かめうさけんでせめのがつ美中乃せめ
男女宮支獄卒おもひもよらぬよりしぶてん
けて大ちうこん像しゐく毒乃矢それさん遠ちおそれ
ぶこゐを焼ゐもあいりおきまわいこうれつ
い男女一見をのこんぶ死よりそのうち拷問
とりよりて閻魔法の責ての人数よりこうわけ
まごごされて乃大罪にゐくこんら閻魔法へも
又四路だりこゐくこよさこてこてわてきこ
第十八　閻魔法責

絶よりもんまの大まハけ事ゆめよしもてせこ二月
十又四日の又更よ拾仏堂よ新遍極有敬合掌
して南無三界の導師一切義成就釈迦年尼必来
陵越入滅相尚是貧乃等欲奉勵微力の寸志報
廣大仏感し法施とりさせこゐひ吉祥流よりさ
ゐまこハ法王達列と系ひるこ又王御対面ゐりて尚
まこ仕罷人寛宥乃作暇よりてそしぐこゆ
ゐくかよそ作をゐがりくハ各て一度四見よ清
愛ゐ作し焼香あまこしのくまいくぶ海乃美稚
風云の名酒とまくけくて蛮ハゆくめぐりさこれ
ハくゐくまりまこばを客こかこぐ酔るいろんてこら

海至祝文飯の燒元〻[illegible]
〻〻して愛敬まする[illegible]
ふハ[illegible]
[illegible]
ざ〻よそしを勅紙のる[illegible]
の屠ふ〻さ[illegible]
〻[illegible]

佛滅二千五百年　摺刷供養恥碑形
曲茶泡立三途川　皺紙初花耳鈔錢

こあそ[illegible]
くはも[illegible]

[illegible]
抽ゲ蒼[illegible]豆燒豆其豆豆釜中[illegible]足同根[illegible]
何太急し。七寸[illegible]
世ふい不思議[illegible]
下ふといく[illegible]
[illegible]
き[illegible]
[illegible]
[illegible]

ものそれぐ〜ゆ上るもの
ふるく御堂ゆうあへば

天文二月涅槃年
燭王　唱量教寺耳目

絲藻金物壇上亦
衆僧指篭布施銭
大心王

泰和寺
雲脚のさし三ゆハ指ぶ菜ハ泡の
おぐれ三ゆくらへ入や御佛
奈廣王
同所
白ゆる波巻揚の口
なぐれくらへいゆや御佛
都市王
同所

川ゆる藻潟ゆや巻の口でゆも
おぐれ三ゆくらへいゆや四佛
轉輪王
同所
三津川ゆくれんの口向ゆ
おぐれ三ゆくらへ入や四佛
初江王
同所
菜も赤もあるてゆ向の竜ハ高
なるもくくらへいゆやゆ
宋帝王
同所
笑壺の面もそぐらて彦東
かるれてくらへいゆや四佛

源和尊　平等王

四方八海うしとゝもゆる花の波
おろしてらくへいるやとりけ

閻王義尊得廻年　深志一勵萬乗報謝
春来水清花開時　是悉成手向緒縁

慈悲閻魔大王はんゆうふまつりまんゆ海波
つこうこんの中よ或い儒学とうこゝ或ゝ
歌ゝとゝふ又書ゝの達者ゝ仏ゝも
ゝゝくゝと拾ゝものゝとゝば奇妙なゝて作ゝそ
玉神よゝゝばゝてゝそのゝくゝとゝゝくゝゝゝ

唐賀ゝくなゝゝゝ

ばしやうんわかぞくしんぬ気久めなしぬをしんぬ分
ひのさいなぐふくくかぶ迎城しつぷ天変わくまれ又見て竜彩とおぐの
ましぐ紅涙濯玉瞳しとゆ面相わくゆ元さ
まてひそふゆ上けつ天主ゆ元さしば明るぬ
方ふ郷氣しるひくこ漢とやるうるくく天
ひひぐくるくまりぐふ小方よくろやしぐら
山頂よりひ時く電光ゆるをふくう。
かまり信ぬ天変ハ測深と拾ふしぐろとえ
どくこ一寺をぐもどとくぐもりつるゆ。ぬしう
わ三三迫うぶひるんるれ動宮ぐ修せて

くそめふうんりふのまれ日ちり元帥大夫の郷友
源の義信回情とまもよりもせ八十四万八千金持
うぶるのりと朝ふるやうく奥とつうこ大敵
とあくうぶふとりぐんん内ハ殺ぷとうくけん
でせめぐぬ。ホハ門ちをハ寄れ軍将門拾清ち
新光九十三万七千金持ぷ大人ひもみてどぷくよ
ちぬ海上ふハ安義ヒる寄ハ海豆が一門数万殺れ
兵和ふ赤懐なびくせあよんろぷくくりりハ門
ちりハ六条ハ友為義父子ま信数万持ハ軍兵
ヒ底ハぐくく大力めさぐぐし電光くくや
くくかふ名乗りけぷ赤面も小弟てふをぷと

[illegible]者ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

ばつを心ゆるしばかりやはをはをけまごて面をの
雷ようりもれこ合まなしば義の四八るばと。
こごんをそごらんも男ん子なるなるようごとなる
うと系新よて天王の四そばるしどごうわ
ゆこしておこご由しそし格闘魔王天ゆ
ばいと形ハ陸地もの魔門ちしふのやるごば
こゆぐ八十丁ゆいごせんをん八石とるさ三十
丈よはよなゆ。巻の めんぐるに八幅百丈の堤
とりゆ方あどゆへ八方の堅門十方八明櫓祝
をゆへてやひこ。鉄碇ち縛と逆櫓
はゆこゆり鐵のうゆ虹のごゆかりゆ尚八

門ふハ平沢馬沢俱生河阿羅新敷刃八鬼ごく
毒八矢ともげりとはく。地毒尚毒毒国
なり。悪つとゆゆ宅毒獄卒七万余鬼門
八から面よ矢か入尺牛八大石と面ばくはそ
ようりへよ六丈の柱木と衬矢のごくるげう
け毒の矢ともる矢とごごうゆせんごゆを
ぐゆよけ二丈計合ゆ悪鬼竜蟒の鐵とさ八
天ごゆ水力ととゆごうゆ後のりゆと
はさゆゆのごゆゆうゆ出天音初メゆくひ
方合ハ祇も鬼雷も鬼しゆちくごげゆく
ゆ人王ゆ大ゆ悪門とあげ方ゆ面ひさ

久しぐふかつて四郎義まさ四よゆづん
なくば海ふいごのふまぢをつかそれか
ら罷人みくぐつかのふぜいしぐ遠くく
海土れしかくれそ奥ふかりの河内よめと。
みちのくげよ中ぐじよみ四よ海と紙とちり
泥ちの中れようぐし嵐雨の空なかこうろさの
命ぬこぢえとまいぢりわ河ありさ四わく。
たりこに八人三人あへ五ふと六人源ふれ奥の
やせごうぐあはくぐ河わちまさちぐる
うかかとまかだ〇うとぐ。いのまふこうらくる
まいよ中書とあいく。系馬よのりかりら

まえへむひかりて矢とるちきか天れ恐
もぐうばだりうやまひとちざかなりまく
ひがまをいさんぷりくい四つぐ不ぬう
那四いとそしぐぐもちかがとさびあれた
人力と八一ちよとのまと八十百騎ぢ四く
通るべし。婆婆ふく作ぢ。罷科よ又宮遠
ふく童めの事。わさ四れ波界ややたざう
いて立ちわ事わ河しかちらしお立く二ち
いりくくぢちかりもきかあよ桐換
四の信人和田吉盗ば嬬ふ小林のわさいる武秀
しぢ男すちあくいきかハ伝系とのまが

主人閻魔王そのうちの沙羅も今はとこなひと
とれ栄花よりうきおごりの罪人の罪科うらぶり
人あらふうあとあるまよ面をぬ祇園人多のうふん
とよを酒高らんぶ人程興のうきみくは東と遠
つうこうまつり人うれるとうとうとて殘主の紀明
れいらうくのびよ成号下なしパ世ととう
らふ冥皮徹卒ホ皆とのもくが機嬌よ面を
呼責となんぞれよりてこ人の恨恵はくる
対ゑ天のこあ山はすよいうり地獄とのの
相しなが色いあくく指とはよおとくく
らズカとうれおく迷面ゆうくりうてぽはの

飛人よハ仏命うんん頭ホハ仏神も後の甲とき
みんにくこひの鎧成のけ面魔ぐくみくよりと
指ゆくせんこいぢん人鎧の威光濱の右祖三
尺の剣ごれくふひうくん太力とん人面敵成
のうほと勇者とのうめ年来うくの剣と
もざ合よりてれそのまてにちざいれ
見ともり法とは付剣とんぐざり年さわけさ
かくくかけりけ中よはんでさけざりと
むぐのの合とさんぜんよそこ引ゆくくの
ちうゆくはくこさいて雷王と見ぐ指合侠の
鋒とかぐりうくんくと面ゆくく雷王とる

とりけごうりんぐしをふるえ鉄ぐ
をぞのこハ角ずポ中ちゐ二つよ祈ぐ
双方しひかぐ鉄ぐはぞぐ
指となげもくぐひ入るまくし○ようを
ふ三人八すの太刀ぬ
腸のはぐいぐをを角ぐ
雷雲上下二つよをれ
それぐよをあひ働て
ふ角ポ下ハ見ちふ
を角ぐのくをを見と。胴をハけくよ上ハ引
ぐをくびうりて味ふ海よ入りぬくび

なりて雷雲まわこハぐのくぐおいうん計なり。
わくひかぐ振舞ぬなわしかあくれちぐ雷
雲くくび三日まかこくらざれバ法人見と見ぬを
ぬわしやなわ又うミハ見ぬ濱海なを玉竜
服虎二つ八捉つぐ鬼うんハくくひくりて。
平家の一類ぜ失をを悪風とのを
けて毒の矢をれちぐ恐しの矢合あくを
鬼おまくぐ中ちぐ鬼二鬼すを出くいうを
見ハ見捉つとくあくを大風くを考ぬ今
鬼又ぬくごうしハ服虎門とあぐのくを海を
しいを鬼ぞポ様ちくをを八平家とや

ひろ二間ばかりなるかべ。植長天皇八こう
いんなるべしとぞ。ものしるしたる。
くぐつとれとぞ。まのさきに。平家の落武者
数万
被ひろめ。ものふ永一そうこうべ。
あれなるうんとうくるしば。越中の前司盗後
ゝ二間ひろくこうあるいおとやわうすうさ
こんかりのうれ。ものふ。あるハあやうさと人ものか
れしいつかあるしさへあるうあるくるくるくるひ
ものしど。盗後ん強なしれば。ばかりていざうえん
一人陸へよりのふ。ものふ。ものふ見ごとこれとそのつ
れ。ものふ。ものふ。ものふ

小夜嵐雲龍六

小夜嵐雲龍六

とん角ゆゝ。三十ばかり鬼切のつるぎ。そのゝち大閤殿た
二鬼とゆんでゆくゝ。振よゝゝみて。我ゝ。ひゝり
ゝびのりこゝゝ。ゝ角へゝ。ゝうのゝ。世界ハ。ゝゝ遊
ゝなゝゝ。ゝ角ぞ。今ハ義士ゝゝとゝゝれば。人ハ鬼と
なゝゝ。鬼ゝ飛人ゝゝゝ。ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
大閤殿ハ二鬼ハ者ハ。辛ゝ。ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
角ん八海ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
漢はゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ありけゝゝ。大塩ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

かせをとゞ〳〵出むひ人馬ともとゝまりひ移り
こゝ〳〵安道の海よなげの奥の名ごりよかさん
らく大王にいと毋とゝて竜神門へぞおこなは
一丈あまりの水瀑とぞ八尺計なる力とゝ見た大
門のうをはつとゆく大音聲とゞろひけるに
りれは是大王の召れをゆる習朝夕をるしぎめ〳〵はふ
き毋てゝはゝる剛婆者〳〵ゝりのんぞまこと海
等ハ罷人なるかゝいりのまふ詰物奥ハこゝの人た
ゝ。あらひるよ祭つとゝ。ものゝどもさゝゝとゝそ
をとゞ〳〵がゝてひさゝれよ人るをふけ〳〵はゝあゝ
安道の海よなけいまゝん四乗ハ行くれなる祈か

てはゝる。擅物ものゝ。実人の向ゝ傳
擅罷一日の朱とゝ毋のゝむよ仏ゝゝ〳〵ゝ
罷人をやらく〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ
ひゝゝゝ。宮変俱ふ〳〵ふひけるハ兵とゝ毋ゝ
がゝゝゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ
ゝに。ゝゝけなゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
しゝゝこゝ光鋒大力ハ〳〵〳〵〳〵〳〵〳〵
ゝゝふハゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝ〳〵ゝ。剛婆者ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝかゝゝゝ衆ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
はゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

なりわりをいさんなる。悪人どもゝ人を十人ゝを
取て引うゝ色〻変よはゝうゝこゝろ
ばえせんしゝひきしぼりゝ又ゝゝに獄卒どゝて
ありてびゝろの廣云ゝ云ゝとそぶりゝいわれ
で常ゝれゝくゝゝ云べゝゝゝゝひゝむなれ振
舞をゝゝゝばかゝゝゝのゝゝこれゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ねゝの廣云ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

かうとかりひゝんしてつまをふぞびなどりて引婆
が物をこかかうぜいとりてゝ引婆のうゝえとらゝてふ
あくがうぐれてかゝぐらうあとゝ入命引婆がゝらび
よえはゝうゝ名いやいしいつく福ぐらてこゝがゝこだ
い福ぐゝまゝまゝこてゝ福ちすぐゝ名ぐゝがかぐ
ゝ福ぐあひけゝが引婆のなくゝ面もちなれいゝ
ゝゝいうぐこらうぐゝ鼻とゝぐゝくゝ二つう
つまてゝこはゝゝ入命うゝひにらればゝうゝ引婆
が胴ゝぞのこうゝこがゝ見なゝわればゝゝ立
なゝりゝ入命がうゝく福ぐゝひゝうれぐゝのんぐ式
かうゝいうきれて橋ひらんうんまゝわゝそひゝら

ぐゝゝそゝぞ孔よけわゝ入命ハ引婆が首とゝ行て
よ拍ゝゝてよ鐘とゝうゝこげて味あゝ働ゝ塩ゝり
ゝわゝ行はゝゝいひかぐゝゝふゝうれ若ハ拍ゝもあく
ぐゝ大拍福軍ゝゝあひゝあゝうれ入命がゝゝまぐく
れゝこゝくゝゝて味ゝゝこ。用とおぐゝうゝ大王雲石
まてゝ行ゝゝく雲夏獄卒ハはぐゝぬぞゝまも
とゝ人のぐゝてゝくゝりのゝもやゝゝわてれかふゝう
せのふ雲夏獄卒ハけるハ今ハ罪人が来ゝう
かゝう申とゝぐゝうのとゝゝゝりのゝれの
大力とゝれ角也鬼と働ゝこひ不相法ゝゝら
まれハ二つ三つよゝうゝひゝくゝお食ゝゝぬゝう

そうの西さうかしら。寄合ハ夜ごとふ八十兒百兒うち
きぬ寄ハいらうべばぐ〳〵花火を乃ハ擬寄ていさう。
門ち内へ引きりぞうこ。契をしてそびえこゝろ搦
からちわやさおうんぐ姫いろ姫ゆくぜんくうてい
じんハきし。矢ごぐ〇とはうこぐ。こんくと三十
丈ゆうんぐ。石垣なれバ。祖ろ矢乃蓋をなり。尖責
みしあせわみしせんうこゆ。ゆ成送りぎこのて
ゐぐ。ふし。蓋しゆ。夏をうてゆ月中旬
みてゆをすわぐ。ふ又ちらうこをしがひ
やうゆまきこれ出これ武蔵ゆはうちうぐひぐか
こうゆうこ。ぐあうをそれ乃しつひ

れがのいとなしけまさるに法師の罷人たち
ゐてこさせんとて八日の早天より地獄といぐ十日の
八方をあるれぬかぎりをもとめたるに三十
日の十日の夜ぬまに長者のしもべ地獄より
あらはれいでぬ。ぬまよりこの地獄の
者ハ軒の下のごとくにしてげとなのごとくに
今ハうや地獄ハやけく跡ばかりなけまバ蓑の
まへ下ばかりこれ蓑ばかりにて
けばかりなれば蓑もものごとくの
ふかくしよせてゐむりとゐます。
うえつるゐ初はしぬ御はしるめう

かうハ法師ごとくくをもて称ずしれば法師の
陳の虎ハ法師ゐもくて学耳とをもをバ閻魔城の
あくしてはまぎ義ずしつばつのとうぶるわや
まつるが。燈へをはびぬ浪へをうこはびぬ行ゐか
くあるゐ。いぶやんこうりやとそく。閻魔城の
法義とて法あ。あ義とをものぶ朔かメかけば
つとかりひうをつのをうぬをを人をあるひ
なりうくぬひちまとうをもをうをぬをとかくか
蓋量尽をの人さなれば芳帳の弥遠ちの地
ごて燒あとまてけわうふ屋ごて方へ
偽くびくぶちをあ。屋ハ板柏落ちぶ

あれはいとびの御代とかりひめくらづふさのう
ぱぢのうあらくぬ。垂の一重垣と屋ごてあくぶよ
歌のうつぐでせうるうれぐぢもつぐうしは
涼くうて菓の四くに家まぐろ数やうしん
がぬけのりまぐ民のかまのめぐこいうこ三ま。
くやうくふとのご家蔵というるひかぐに八ぐ
ぐうとはぐひうぬくうれこうやは年月菓
外よ。橋ひぐよ業付のう。汁矣ととぬ。浅湯れ方
へはぐけぐろうんま城はあらめぐーとぐひうう矣
し。酒作酌作つし含めのうぬぐいぐ朔夕月れの
なれぱ球夏人のわ入多ーぐいのうつーもみた

ぬくはまて事ーー歌をあまだのめとうーぐうう
さんまくまひぐぬ。ーぐうらうもぬ八ぐうもるぐーぬ
ううもぐーよのうーくやうーくぱ生つーはまこめうと
や。作事のううんぎんよひうう礼会仏ア蒸蟹んあう
うのぐーいぐうう矣れぱ。神ぐひううくうぐ善礼
橋のうぐいぐうう物んううぬうーゆう人をあれ
ぱぐーうぬ伏ぬ住師をうんあるぐもぐめハ業八居業
れ戸をぬぐうあくぬあうをぬ分ぐうーふくやうぬ
ぐううにのーぐうくうし命ぐかくやくうれぐぱめう
数通のぬまもなく。横ゆひうやーぬぐうう。
入ぐくのうくのく塩くむあうれあまだぬよ入多

ふるくとれてすがめせしうるこをあらぬ[illegible]
ゆくとしをかぞへしうとともてくるそうをあ[illegible]
さらぬさうの神はぞ[illegible]くめ十四ぞうわ八そのゆ
さかうくはうとうをやぞふうう[illegible]

小夜閑巻之第六終